七谷市空報 自20.3.18 ～至20.8.10 まで22回
最大空襲 20.7.11日 未明

大分市報
毎月1日 16日発行
発行所 大分市役所
編集兼発行人 兼田俊生
印刷所 KK明文堂

戦災全復興事業終る

着工以来十一年の才月を費す

昭和二十年七月未明の戦災で、大分市の中心部五千戸、約八〇%が一朝にして灰燼と化した。この余燼攻まった昭和二十一年九月、戦災復興都市計画による最初の測量杭が打込まれてから完成の今日に至るまで、十一年の才月が建設への胎動を続けながら流れていった。

この期間はただに大分市にのみに限らず、全国一一五の戦災都市全部が、同じ運命を背負った復興への流れもあった。

丁度物資の缺乏した日本のかつてない戦後の混乱期であっただけに主管の復興課は、青写真に使う感光紙を買うのでさえ、リヅクサヅクを背負って福岡まで、捜し求めて歩いたという。

このような悪條件の中にありながらも建設への工事は、幸い市民の絶大な協力を得て、事業はは着々と成果を重ねていった。

二十五年七月には、岐阜、松山、大分とこの三市が、共にモデル戦災復興都市として、建設大臣から表彰されるに至った。

然るに本年十月三十一日建設省より竣工検査の係官が来分し、事業の完成を認めたので、ここに本事業のあらましを説明して、明日の大分市発展のための一指針としたい。

大分市の戦災復興計画は、昭和二十一年九月に始められた。

当時の市長は現大分縣知事の木下郁氏で、当初主管課は土木課であった。然し工事の進展するにつれて同課は二つに別れ、二十一年七月新しく復興課が誕生した。これが現在の計画課である。

二十二年木下市長の追放から、上田市長が就任し事業を継続することになった。当時建設資材は勿論あらゆるものが不足していたが、上田市長になってから、＝何をするにも最少の経費で最大の効果を挙げよ＝総てが創作だ＝政治は尚更のことだ……という市長の考えは新なアイデアをもりこんで工事の上にも次々と実現されていった。

例へば墓地公園、大規模な道路の拡張、優雅で芸術性に満ちた遊歩公園野趣に富んだジヤングル公園など其の一例で、この市長のダイナミツクな政治力には、人人は驚異の目をもってみはった。

● 街路の整備

先ず区劃の形態を先に整えてかかったので、路面整地を急ぎ補装工事は後廻しにせざるを得なかった。路面整地の延長は一万六千米、約九万平方米、砂利一万二千五百立方米、側溝延長一万八千九百米、これには約三千万円を要した。

● 上水道、下水道 ガス管の移設

大分市は元来大分川のデルタ地帯に建設された都市だけに、湿地帯が多く、これが昔から排水問題に何時も暗影を投じてきた。このため華々しい地上の復興事業に較べ工事は、何時も困難に遭遇した。

上水道敷設は八千八百二十米、撤去三千百七米で、工費は九百八十万円、下水道敷設は一万三千二百四十五米、撤去三千九百五十五米で、一千百六十七万円を要した。

ガス管敷設は二千五百二十米、撤去三千五百二十七米であった。

● 軌道の移転

大分交通の電車軌道の移設は、二十六年の第一次から、三十年の第二次で延長九九七米、事業費一千七百万円を要した。

● 家屋の移転

区劃整理中特に移轉費の問題は一番議論が沸騰したが、移轉家屋五五二戸に約七千万円が支拂われて解決した。

● 墓地の移祭

府内城下町だけに歴史的に見ても旧領主をはじめ、所謂る昔の高位、高官の墓地が多く、従って寺院の所有地も広かった。然し殆んどが陰気臭い薄暗い環境の中に安置されていた。

上田市長がこの二千五百四十二基の大集団を、上野ケ丘台地一万七千坪のうち約四千坪に移祭した。名前も墓地公園と称し、園内には展望台、苑路、ドライブコース、花壇を設け、この位置から全市が眺望出来るようにした。

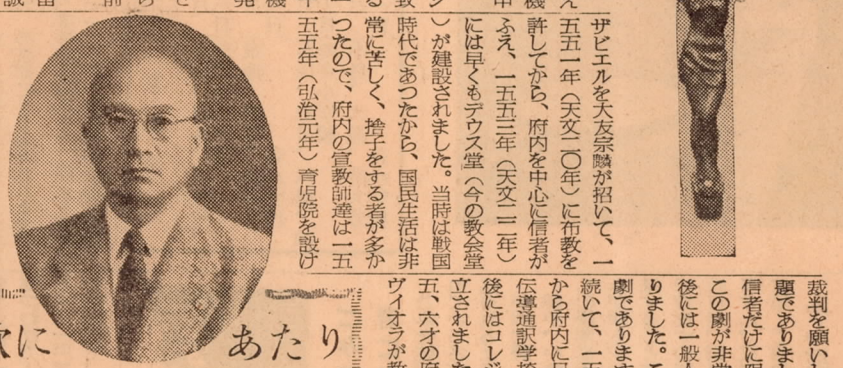
● 結び

ともあれ十一年の才月と、一億六千万円の巨費を投じて完成した復興事業もここに休止符を打ったが、財源は市の一般才入から千七百九十五万円、起債一千七百九十九万円、あとは国庫と縣費補助金関係業者の負担となっていた。

かくして人口十一万を突破した大分市を人よく、「神秘の都市」と言うが、これも上田市長の構想に負う処大である。市長はまた十一月二十五日羽田を立ってローマに行くことになった。

これも、かって大友宗麟時代日本に於けるキリシタン文化の殷盛を極めた、姿なき過去の歴史を四百年後の今日、市長のひたむきな熱情により、復元しようとしている。

然もこの壮挙たるや崇高な愛郷精神以外何ものでもなかった。



市民の皆様

秋も漸く深まり、朝夕は大層冷えこむように相成りましたが、御機嫌如何で御座いますか、御伺い申し上げます。

扨て、私は予ねて大分市にキリシタン文化センターの建設を計画致しておりましたが、いよいよ来る二十二日午后二時、関西汽船の一便で大分港を出帆し、二十五日午后九時十五分発のBOAC飛行機で、ローマに向け羽田空港を出発することに相成りました。

東京を発つて再び東京に帰るまで約二週間の予定で御座いますから大分に帰任するまで、約二十日前後留守をすることに相成ります。

これは相当長期に亘つて市政を留守にすることになりますので、誠に市民皆様に対して申訳ない思いで一杯で御座居ますが、何卒御諒承の程御願申し上げます。

何故私がローマまで出掛けるかについては、既に御承知のこととは存じますが、中にはまだ充分御理解していられない方もお有りかと存じまして、次にこの度の旅行について簡単に趣旨を御説明申上げて、御諒解を得たいと存じます。

日本でキリシタンと云へば、大抵の人は先ず長崎を思い出しますが大分に於けるキリシタン文化の栄えたことは、長崎よりも早く然も非常に盛んであったのであります。

今から約四百年前我国に始めてキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルを大友宗麟が招いて、一五五一年（天文二〇年）に布教を許してから、府内を中心に信者がふえ、一五五三年（天文二二年）には早くもデウス堂（今の教会堂）が建設されました。当時は戦国時代であったから、国民生活は非常に苦しく、捨子をする者が多かったので、府内の宣教師達は一五五五年（弘治元年）育児院を設けて捨子を拾い上げて、牛乳で育てたのでした。これが日本で一番最初の育児院であります。

次に一五五七年（弘治三年）には西洋式のすばらしい病院が出来ました。患者は、信者のみでなく異教徒も含めて、遠く京都や関東地方からも来ておりました。然も府内附近には移動診療班まで設けて気の毒な患者の施療に当つたのであります。

これが日本最初の西洋式病院であります。

一五六〇年永禄三年のクリスマスには、日本最初の西洋劇が上演されました。勿論、宗教劇で「アダムの堕落と贖罪」と「ソロモンの裁判を願いし二人の婦人」という題でありましたが、観客は初めは信者だけに限られていましたが、この劇が非常に好評を博したので後には一般人にも公開した程でありました。これも日本最初の西洋劇であります。

続いて、一五六一年（永禄四年）から府内に日本最初の初等学校、伝導通訳学校、語学校が出来、最後にはコレジオ（大学）までも設立されました。更に同年には、十五、六才の府内の少年達に声楽とヴイオラが教えられ、これらの少年聖歌隊による西洋音楽の演奏が行われました。これは勿論我国に於ける西洋音楽のはじめでありました。

当時コレジオ等の西洋式の建物には、西洋画の壁画が描かれたという記録がありますが、これも西洋画としては日本最初のものと思われます。

かくて、一五八二年（天正一〇年）には、皆様御承知のように、当時キリシタンとなつて教名をフランシスコと呼ばれていた大友宗麟は、十六才の少年伊東マンシオ一行を、遠くローマ法皇廳に派遣すると云う空前の壮挙を敢行したのであります。

かくて我が府内こそは、カトリック教の日本に於ける最初の基地となり、西洋文化の日本に於ける源泉地となりました。医学、教育、福祉、洋劇、洋画、西洋音楽等々進歩した新しい西洋文化は、始めて此の地に根を下し、薫り高い花をつけ、暗黒日本の上に、ここ府内を密として輝いし光を投げ入れました。病める者、悩める者は、此の光を慕つて、山を越え、海を渡つて府内に集つて参りました。

皆様、かって多感な万葉歌人は咲く花の匂うが如く、今盛りなりと奈良の都をほめたたえましたが、わが府内のそのかみの盛んなる有様は、それにも増して妖しいまで異国的な文化の花が綯爛と咲き誇つたのです。

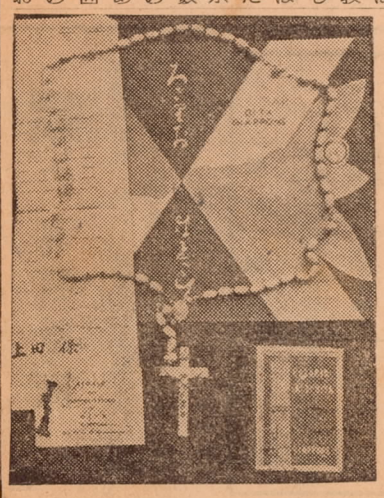
朝な夕な響く、エンゼラスの鐘の音、壮麗な礼拝堂、高く聳ゆる学校、病院、喜悦に満ちた信徒の群れ敬虔で厳そかな儀式等、総ては神の栄光に輝く平和な姿でした。

誠に府内こそは、当時只一つの、そして日本に於ける最初の神のオアシスでありました。

だが光栄ある府内には、悲しむべき運命が課せられました。それは打続く内乱と、政府の厳しい禁教令でありました。之れがためさしも栄えた府内のカトリック文化は跡形もなく焼土と化して仕舞ったのでした。爾来、春風秋雨三百余年の今日、市内顕徳寺に、私が数年前建てた「史跡デウス堂跡」の標柱が淋しく立っておるのであります。私はこれを唯徒らに低回懐古するのみでなく、此の田緒の地に、いま日本中に散逸しておる。

渡欧にあたり 市民の皆様へ

大分市長　上田保



本豆とオリザロの製竹は真写

上田市長渡欧壮行会の開催

左記により上田大分市長渡欧壮行会を、開催することになりましたので、この会を盛大にする為、市民の皆様多数で参加をお願い致します。

希望者は、大分商工会議所事務局まで、申込み下さい。

○開催日　十一月二十一日　午後一時
○場　所　縣教育会館三階ホール
○会　費　一人百円（申込と同時に納入）
○申込先　大分商工会議所事務局
○締　切　十一月二十日

主催　大分市議会
大分商工会議所
日本キリシタン博物館建設委員会

お年玉つき年賀葉書は、十五日から四円と、五円（寄附金附）の二種類で、どちらもくじがつきます。早目にお買い求めを。

サイレンの吹鳴

二十七日午前八時三十分大分市の中心地が大火災になつたとの想定で大火災防禦消火演習を行い市のサイレンを三十秒吹鳴して、消防車の出動をさせますのでご諒承下さい。

大分市駄原（大分射撃場）で（一）自昭和三十一年十一月十九日至〃十一月二十日毎日午前八時より午後五時まで行はれる（二）自昭和三十一年十一月二十六日至〃十一月三十日同上

秋のサル（二）

市観光課嘱託　水原洋城

野生のサルは四季を通じてそれぞれ異なつた美しさをもつていますが、もし清少納言流に言うならばゝサルは晩秋〃が最もよい見頃でありますとくに落葉林の中で、枯葉を敷きつめた、がらんとした冬の環境が訪れて来ると、サルたちは皮下脂肪を充分貯え、淡色の長い冬毛に着かえるようになります。中でもリーダー格のオスなどは、肩と腰の肉が盛りあがつて、クマのようにりつぱな体格になり、これに加えて顔と尻がまじりけのないスカーレットに染め上げられてくると、冬の生殖シーズンを迎える用意が出来たということになります。

若若サルが指導者の仲間入りを試みて、失敗するのもまた孤猿たちが群に入ろうとして活躍するのも、今年生れの赤ん坊サルが仲間入りをしようとするのもすべてこの季節です。

これからの入園者の方々が、よくこのような点に注意して観察して見ますと、秋のサルの緊張した性格が十分伺えると思います。

終

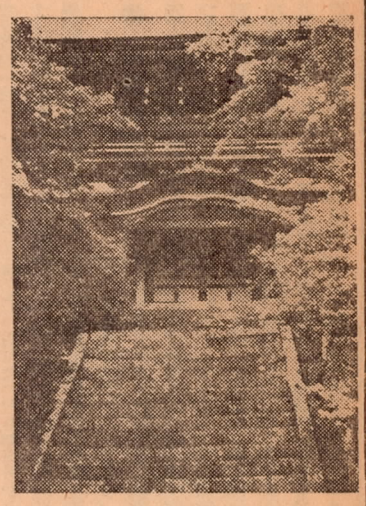
勤労感謝の日は もみじの柞原八幡へ

十一月二十三日は「勤労感謝の日」で、宮中では天皇自から新穀を天神地祇に供える盛大な神嘗祭の式典が行われます。

ところで市内八幡にある柞原八幡宮（元国幣小社）では一度この頃がもみじの紅葉する最盛期とあつて、多数の参詣者が毎年押しかけるので大分交通でも今年も臨時バスを繰出す予定にしています。

この地は徒歩で西大分から約四〇分で行ける本道の外に、下八幡から上る参道、田ノ浦、別院からも上るコースがあつて、都心から手頃な位置にあるハイキングコースとして好評を受けています。

〃忘れてならない〃 ―ジフテリアの予防接種―



最近縣下各地でジフテリアが随分発生しており、大分市でも散発的ではありますが、既に三十人の患者が発生しています。ジフテリアにかかると喉がはれて痛みと共に、呼吸が困難になり死にいたるという、伝染病の中でも特に激しい種類のものです。

この病気を防ぐためには、先ず早期発見と、予防接種の方法がありますが、市では予防接種に重点をおき、第一回を十九日から各校区別に次の日程で実施致しますので該当者は洩れなく受けて下さい。

○該当者
―生後六ケ月から十二ケ月の間にある乳児
2、昭和三十二年四月小学校に入学する人
3、昭和三十二年三月小学校を卒業する人

○注意事項
脚気、心臓又は腎臓の疾患者や、胸腺淋巴体質の徴候のある方は、接種をしない方がよい。

一、料金
初回免疫（三回分）三千円
追加免疫（一回分）十円
但し生活扶助者は担当民生委員の証明により免除されます。

接種時間毎日午後二時より四時迄

一、ジフテリア予防接種日程表

接種月日	実施場所
第一回　十一月十九日	桃園、日岡、東大分、津留各小学校
第二回　十一月二十日	金池、滝尾、長浜各小学校
第三回　十一月二十一日	荷揚、春日、八幡、神崎各小学校
十一月二十二日	中島、大道、南大分各小学校
十二月四日	桃園、日岡、東大分、津留各小学校
十二月五日	金池、滝尾、長浜各小学校
十二月六日	荷揚、春日、八幡、神崎各小学校
十二月七日	中島、大道、南大分各小学校
十二月十八日	桃園、日岡、東大分、津留各小学校
十二月十九日	金池、滝尾、長浜各小学校
十二月二十日	荷揚、春日、八幡、神崎各小学校
十二月二十一日	中島、大道、南大分各小学校

切替は約二万五千台 無標識の車は今後も取締る

市課税課が十月初旬から全市一斉に自轉車、荷車の新標識取替えを行つてきましたが、十月末までに取替えを終つた車は、自轉車二万五〇〇台、リヤーカー千六四六台、原動機付九〇〇台、其の他が三四五台で、約二万三千四〇〇台が、期限内に終つたことになります。

また十一月から十日間、係員が街頭や各家庭で発見した無標識車は約千八〇〇台で、合計約二万五千台が、今度の切替で取扱われたことになり、これは一度大分市の総世帯数にほぼ等しい数字です。

更に同課では今後も引続いて、無標識の車を取締ることになつていますので、若し皆様の中で何かの都合で、新標識に取替えてない方がありましたら、課税課まで申出て取替えて下さい。

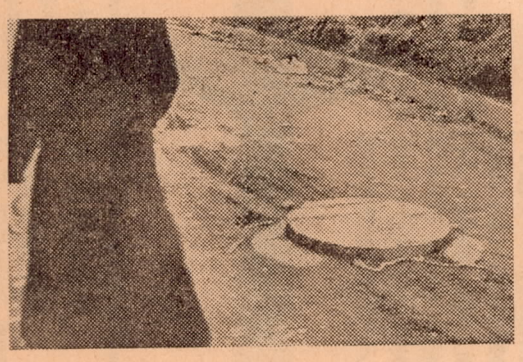
怪しいと思つたら通知を ―あとを絶たぬ公共物の盗難―

最近市内の水道器具類の盗難が頻々として起り、皆様にたいへん迷惑をおかけしていますが、これは白昼あたかも水道課吏員の如く装つて、公然と持ち去つて行くことがわかりました。

これまで水道課の職員が、皆様の家庭に参ります時は、必ず身分証明書を持ち、夜間は大分市水道課の腕章をしております。また工事をする場合でも、無断でするようなことは決してなく係では必ず家人に断つてから、作業にかかるよう申してあります。

ところで偽者が腕章など持つているはずはなく、器具を盗むことが精一杯で、たとい修理と装つてきたにしても、ちょつと注意して見ていれば、その態度や行動で偽者だということがすぐわかるのではないかと思います。

どうも怪しい、変だと思つた時は、最寄りの警察署か、水道課へ御連絡下さいまた盗難のあつた箇所には取りあえず木製の蓋を置いてありますが、これは見ただけでも見苦しく、街中を歩いていてこれも盗難かと思えば実に寒々しい気持になります。消火栓、マンホールの蓋、水道器具など最近拾いあげて見ただけでも数多い公共物の盗難事件がありました。然しこれ等の犯人が大分市民の中に平然と生活しているのですからたまつたものではありません。



水道課では更にこれ以上盗られないように注意しておりますので皆様も積極的なご協力をお寄せ下さるようお願い致します。

（写真は木蓋のマンホール）

公民館結婚式の案内 大分中央公民館

大分市中央公民館が、公民館結婚を挙式するようになつてから三年半、いまや全市挙式の六割を一手に引受け、挙式数も千回を越えるという盛況振を示してきました。

この原因は挙式が簡単な中にも実に厳粛にとり行われるというのが、大衆にとつては大きな魅力で、約一万三千円位あれば、実に立派な式が挙げられます。

そこでこれから結婚なさる方へ、参考まで挙式費用の説明を簡単に申上げますと、次のとおりです。

○式場費＝五百円
式場、祝宴場、新郎新婦控室、その他器具使用料

○給仕人＝一百円
湯わかし、かん方、配膳給仕、後片づけ（招待客十人毎に一人は必要）

○結髪と着付
和髪＝千二百円より
洋髪＝千円より

○式服料（公民館備えつけ）
振袖一号　千円
〃　二号　五百円
モーニング　五百円
但し館外持出しは倍額

○記念写真＝六百円
キヤビネ型三枚一組

○料理＝三百円―四百円まで
三百円は六寸重ね折、さしみ、酢物、吸物、折には鯛の姿焼き外六品、下には赤飯を盛る。
三五〇円は三百円より折箱が六寸五分になる。
四百円は三五〇円の料理の外に、茶わんむし等二品がつき、折以外のものが五皿となる。

○酒＝一人二合以内で館内であつせんもし持込みも可
但し一組二時間の予定で式は一日三回（十一時、午後二時、午後五時から）申込は三日前までに、式場費五百円を添えて申込むこと。

火災予防運動始まる 期間中は署内を開放

毎年実施して居ります「火災予防運動」も愈々この二十六日から一週間全国一斉に催されます。

火災は年々増加しており、本年六月までに全国で出火件数一万七千九百四十七件、その損害額は二百九億六千五百余万円となつております。これを前年同期に比べると出火件数は七百八十九件増となつており、損害額も七十七億円余の増となつて居ります。今かりに住宅を一戸五十万円で建てるとしますと四万二千九百三十戸の家が建つわけで一度大分市の戸数が二万四十一戸ですから、火災で焼けた損害額で、大分市の二倍の都市が出来ることになります。僅か半年の火災で焼失するのがこんな数字になるのかと思うと驚く次第です。

毎年の例によると十一月から三月までが一年中で一番火災の多い季節となつていますので、「火災予防週間」に限らず、火気を多く使うこれからの季節には、更に一層の警火心をもつて、お互に火災を起さないよう注意致しましょう。

なお、「火災予防運動」の週間中は、消防署内を一般に公開して訓練、火災予防ポスター展、消火器展示会を催しておりますので、是非御参観下さい。

ごみの自己処理者にお願い

ごみを焼却場に直接運搬処理されている各事業所は次の時刻に持込まれるようにお願いします。

午前七時―十時、午後一時―二時半、午後五時―六時

この時間は市の塵芥処理車の持込みが最も少ない時刻ですから、混雑することなく、処理することができますので、御協力下さい。

尚日曜、祭日はこの限りではありません。又午後六時以後の持込みは暗くて危険ですから中止します

ふん尿肥料の必要な方は 市衛生課まで

農家ではふん尿肥料の需要期となりましたが市では、汲取つたふん尿を希望申し込みにより、次の価格で、自動車の通れる処に限り持込みすることになりました。希望者は市衛生課まで、申し込み下さい。

四石入三輪車―一五〇円、六石入三輪車―一〇〇円、八石入三輪車―一五〇円、十石入三輪車―二〇〇円、十五石入トラック―五〇〇円、二十石入トラック―六五〇円。

運転手の講習会を開催 大分警察署

大分警察署では最近続発する交通事故に備えて、このたび運轉手の講習会を、各校区毎に実施することになりました。

場所は大分警察署会議室で、方法は午前九時と午後一時からに分けて、交通事故防止や、改正諸施行令の解説などが主として行われますので、運轉免許証、許可証持参の方は、必ず受講するようにして下さい。

なお、この講習会は事業主に種々な支障をきたすと思いますが短期間でございますので、理解あるご協力をお願い致します。

日程は次のとおりです。

荷揚校区＝十九日、金池校区＝二十日、中島校区＝二十一日、長浜校区＝二十二日、大道校区＝二十五日、東大分、津留、日岡、桃園各校区＝二十七日、春日、八幡、神崎各校区＝二十八日、滝尾、南大分校区＝二十九日。

不用品の売却

水道課では不用品を次の通り一般競争入札により売却しますので希望者（市内居住者に限る）は入札に参加して下さい。

入開札の場所　大分市水道課
入開札の日時　昭和三十一年十一月二十六日午前十時
物件内容は次の通り

品名	数量
日立製三〇KVA単相変圧器	四個

第五回大分市中学駅伝 11月17日に開催

市内七中学校の各学年毎に編成された選手一四七名による第五回大分市中学校駅伝競走を、大分市教育委員会、大分市中学校体育連盟共催のもとに開催することになりましたので、市民各位の絶大なる御声援をお願い致します。

一、期日　十一月十七日（土）
午後二時　※小雨決行
二、コース　大分市内七中学校訪問コース（スタート及びゴールは大分合同新聞社前）

配給通帳が変ります

新通帳は下旬に交付

十二月分の配給から、主食配給通帳が、新通帳に切替えられることになりましたが市内で住所を変えてまだ移動手続の済んでない世帯は、手続を済ましてから新通帳を受けて下さい。

又、新配給通帳は自分の登録した配給店以外では、使用することは出来ません。

尚新通帳の交付は十一月二十四日から十一月二十日まで自治委員宅か出張所で行います。

× × ×
× × ×
× × ×
× × ×

配給店を替える方は二十日まで手続を

主食配給登録店の変更は、毎年二回（五月―十一月）行われますが、十一月に変更を希望される方は、二十日まで商工課と各出張所でこの手続きを行いますので配給関係者に委任せず、世帯主が印鑑と通帳を持参して手続をして下さい。

また前登録店に未拂のある方は、手続が出来ませんので、早目に精算して、自分の希望する新しい配給店で、十二月分から受配して下さい。

移動公民館から 申込―二十二日まで

市社会教育課では、これまで何回となく移動公民館（市内の社会見学）を開催して、日頃家庭にのみ拘束されがちな母さん達に、社会見学を兼ねた、新しい公民館活動を続けてまいりました。

今度は二十七、八日の両日で、見学は市内八ケ所を予定しています。申込は中央公民館で、団体でも個人でも結構です。会費は一人百円で、昼食は各自持参して下さい。

妊婦乳児の無料診断

定例の妊婦、乳児の健康無料診断を次の日程で行いますので満一才の乳児のある方と妊婦の方は是非受診して下さい。

月日	校区	場所	時間
十一月十九日	荷揚校区	荷揚小学校	午後二時～四時
十一月二〇日	金池長浜校区	長浜小学校	〃
十一月二十二日	春日大道校区	春日小学校	〃

受診者は必ず母子手帳を御持参下さい。